

第6回 世論・選挙調査研究大会

主催：埼玉大学社会調査研究センター

大会テーマ：「課題への挑戦 ―郵送・電話・ネット調査での取り組み―」

日時：2016年9月16日（金）13:00～17:30

会場：東京駅サピアタワー9階

■第1部 発表（13:00～15:30 発表は各25分）

- (1) 「インセンティブの違いが調査協力および回答内容に及ぼす影響―金券と寄付の事例―」
大隈慎吾（毎日新聞社）
- (2) 「年代・エリアを限定したネット調査の課題―18・19歳×中部エリアの事例―」
弓削雅人（中日新聞社）
- (3) 「PC・スマホの調査画面における回答方法の考察 ―アイトラッキングによる検証―」
齊藤ひとみ・二瓶哲也（インテージ）
- (4) 「インターネット調査によるセンチメント観測―消費動向・景気見通しからみえる傾向―」
村上智章・萩原雅之（マクロミル総合研究所）
- (5) 「第24回参議院選挙の議席数予測を振り返る―Yahoo! JAPAN ビッグデータレポート―」
安宅和人（ヤフー）

<休憩 10分>

■第2部 パネルディスカッション（16:00～17:30）

「RDD調査の現状と今後

―携帯電話番号を対象にする場合の課題―

読売新聞、日経新聞、朝日新聞が、携帯電話番号も対象にした全国世論調査を始めた
固定電話を持たずに携帯電話だけを持つ携帯限定層の増加に対応した形である

なぜいま携帯電話番号も対象にしなければならないのか（カバレッジ・エラー対応）

携帯電話番号も対象にすると回収率が低下するのでは（ノンレスポンス・エラー対応）

固定電話と携帯電話では運用手順が変わる（メジャーメント・エラー対応）

調査誤差にかかわる課題について各報道機関の調査法開発担当者と議論する

<オーガナイザー> 松田映二（社会調査研究センター）

<パネリスト> 福田昌史（読売新聞社）、江口達也（朝日新聞社）
大隈慎吾（毎日新聞社）、佐藤寧（日経リサーチ）

<司会> 松本正生（社会調査研究センター長）

第6回 世論・選挙調査研究大会の様子



松本正生(埼玉大学社会調査研究センター長)



大隈慎吾(毎日新聞社)



弓削雅人(中日新聞社)



齊藤ひとみ(インテージ)



村上智章(マクロミル総合研究所)



安宅和人(ヤフー株式会社)



松田映二(埼玉大学社会調査研究センター准教授)